

会 議 録

1 会議名	平成20年度第3回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成20年6月17日(火) 午後2時00分～4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】江連俊, 手塚敏子, 沼田良, 古橋悟一, 青木定夫, 江連功, 小嶋耕一, 斎藤功, 齋藤和之, 佐藤きよ子, 塩井洋子, 柴田征男, 手塚光彦, 古橋正好, 松田仁一, 和田春海, 大木清茂, 小野三朗, 北見幸夫, 佐藤和男</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議事項</p> <p> 1) 「合併市町村基本計画の執行状況」の答申について</p> <p> 2) まちづくりの提案に向けた今後の取り組みについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

議 事	
3 協議事項	<p>(1) 「合併市町村基本計画の執行状況」の答申について</p> <p>(2) まちづくりの提案に向けた今後の取り組みについて</p>
会 長	<p>・(1) 「合併市町村基本計画の執行状況の答申について」を議題とする。</p> <p>・第1回の自治会議において, 答申のスタイルや主要事業の区分を協議した。その後のグループ会議において, 地域の状況を踏まえた意見交換を行い, 集約して答申書(案)を作成したので, 事務局から説明願いたい。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申書（案）について説明する。 ・ 「地域のめざす姿」 ・ 「合併市町村基本計画における主要事業の推進」 早急な整備が必要な事業 <ul style="list-style-type: none"> 「児童の健全育成環境の整備」～ 「中学校校舎整備事業・中学校体育館整備事業」～ 整備に向けた早期検討が必要な事業 <ul style="list-style-type: none"> 「生涯学習センター整備事業」～ 「地域交流館整備事業」～ 「上水道事業統合整備」～ 「農産物直売所等整備事業」～ 計画期間内での適切・確実な執行が必要な事業 <ul style="list-style-type: none"> 「スマートＩＣ恒久設置事業」～ 「中里原土地区画整理事業」～ 継続的な執行が必要な事業 <ul style="list-style-type: none"> 「道路新設改良事業」～ 「公共下水道整備事業」～ 「農道整備事業」～ 「林道整備事業」～ ・ 『「魅力ある北部地域の拠点」づくりに向けて』 「大型商業施設（仮称：モラージュ上河内）の誘致促進」～ 「国・県道の整備」～ <p>以上の内容について説明する。</p>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の説明について、各委員から意見を求める。 <p>（質問・意見なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (2) 「まちづくりの提案に向けた今後の取り組みについて」を議題とする。今後の検討スケジュール（案）について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の検討スケジュール（案）について説明する。 ・ 「まちづくりの提案に向けた今後の取り組み」について。 平成20年7月から11月までに、各グループが平成20年1月に実

	<p>施したワークショップでのテーマに沿って、地域の意見を取り入れ、魅力や課題を抽出する。それを基に、具体的な取り組み内容を検討していく。</p> <p>平成20年12月から2月の期間は、検討内容を整理し、まちづくりについてのまとめをしていく予定である。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・補足説明をする。 ・11月までの5ヶ月間で、グループ毎のテーマに沿って調査・研究、「こんなまちづくりをしていこう」ということをグループ内で整理。12月以降の3ヶ月間で、グループから出てきたものを提案書という形でまとめるという考え方である。テーマに沿った調査・研究は、外部から人を呼んでの勉強、状況を見てくる、団体の人から話しを聞くなどが考えられる。 <p>今後、自治会議は4回ほど予定されている。適宜、進行状況などを確認しながら、提案書作成に向けて協議を進めていきたいので、ご検討願いたい。</p>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の提案で特徴的なのは、まちづくりの提案を作るのはグループ会議で、自治会議はグループ会議の提案を踏まえ、提案書にまとめる作業に限定する。グループ会議の活動が非常に重要になる提案だと考える。 ・今の説明について、各委員から意見を求める。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に、与えられたテーマに基づいて、今後どういうまちづくりをしていくかについては、その方向性でいいが、意見が集約できた時に、どこの組織がそれを担うのかが不明確である。今の段階でどこまで考えているのか、我々に委ねられているのであれば、委ねられるのを前提に論じていかなければならないが、説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり組織については、これから具体的に組織づくりを進めていくが、あくまで自治会議では「まちづくり」について、どういうまちにしたいかをメインに考えていただき、その作業の中で、どういう組織が必要なのか、提案していただくのが望ましいと考えている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的にその組織と自治会議で考えているまちづくりとが、どういうふうに着目し合うのかを心配しているため、両者の連携を最初からやらないと、うまくいかないのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・もちろんセンターは丸ごと動いているので、一つの組織としてこれからのまちづくりを考えていく。センターとしてまちづくりも考えながら、組織づくりもそのスケジュールに合わせて、あせらずに時間をかけてやっていこうと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度で組織を作るということではなくて、数年かけて組織をつくっていく、この地域についても数年かけながらどういうまちにするか考えていく、こういう受け止めかたでよろしいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの提案は、来年の2月を目標に考えている。それまでに今考えられる「まちづくりはこんなまち」ですというものをまとめる。それが必ずそういくとは限らないが、提案という形で出させていただく。まちづくりを考える段階では組織をあまり意識しないほうが良いと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんなまちづくりをしましょう」と言った時に、誰がつくるのかは表裏一体の問題である。こういうまちをつくるという提言の中には、それを誰がやるのか合わせてやらないと具体化しにくいと思うが、他の委員さんはどう感じているのか。 ・大胡地区を例とした場合、「健康づくり」をテーマとしてあげ、それを明確に誰が担うのか、一体になって論じられていた。そうではなかったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・これから提案していく中で、どのレベルまでの提案をするかということにもなるかと思うが、「大きくこんなまちにしたい」という提案にするのか、「具体的に何をやるのか」まで盛り込んでいくのか、その違いもある。この問題は、グループ会議で回を重ねながら、検討していく必要がある。現時点では、具体的に提案をどういう形にするかのイメージは明快でない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、こういった方向でまちづくりをしようと考え、目標を達成す

	<p>るためどのような組織を作っていけばいいかは、後から考えていけばいいのではないかと。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大胡町では、自治会議と同じようなところが地区審議会であり、毎回、市長が参加しているらしい。大胡では最初から枠組みとまちづくりとは別なところでやっていて、まちづくりと地区審議会が分離しているわけだが、我々の使命としては、両方を兼ねてやっていくのか、どういうイメージを持っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・明快なものはない状況だが、これからどうするのかは、みんなで一緒に考えていく必要がある。「自治会議がやる」とか「行政がやる」とかではなく、みんなで考えていこうということで動き始めれば、見えてくると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に誰がということではなく、この会議の中でも考えていくということで、現在はそういう段階にあるということによるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの検討委員会というものは、自治会議のメンバーと各種団体の代表者が集まった段階で、検討委員会なるものを発足させて、両輪という形で進めていかないと、それぞれの団体の意向も取り入れられなくなってしまう。自治会議が独自性を持って行った際に受け入れられない結果が出てしまうのは問題なので、同時進行で進めて行くほうが良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議が提言までで終わるのか、それより先まで進むのかにもよると思うが、どういった方向でまちづくりを進めていくのかという方向付けだけでもいいのではないかと。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議が具体的に何をするのが決まっていない。方向性・役割・イメージもない状態である。この状態が必ずしも悪いことではなく、ものすごく自由な一歩であると考えている。まず動き出して、何かイメージをつかみながら体制を固めて行った方がいい。 ・グループ会議を中心に進めて行っていただきたい。

会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に前橋市大胡地区のまちづくりについて、研修の報告を事務局から願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・大胡地区のまちづくりについて概要を説明する。 5月22日に前橋市が推進している地域づくりの体制と、現在、モデル地区として活動している大胡地区の地域づくりの取り組みについて視察研修してきた。 市では、先進的な事例をつくるためにモデル地区をつくり、地域づくりの考え方や取り組みなどを成果として毎年推進大会において発表をしている。地域づくりの大切さを学び、他の地域が地域づくりを取り組んでみようとするきっかけづくりをしている。特にモデル地区の取り組むワークショップは、アイデアやさまざまな意見が出され、地域づくりの活力源となっていることが伺え、参加者のやる気を引き出していた。事業については、1年間じっくり時間をかけて議論を行い、地域が目指すべき事業が絞り込まれている。大胡地区の地域づくり推進委員会は4つの部会で構成されており、「健康で長生きできるモデル地域」を目標に、各部会が地域に役立つ事業を積極的に展開している。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員から意見感想を求める。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりについては、各種団体の代表者が集まり、ワークショップを行い、地域の魅力や課題を見出し、その解決策を考え取り組んでみたり、活動例を挙げそれぞれの地区ごとにテーマを決め、地域全体で行動するという「地域住民が自分たちの地域は自分たちで考えて、より住みよい地域にしよう」という住民自治の考え方は、参考にすべきである。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の一番の関心事である「健康づくり」をテーマに、地域づくり推進委員会を立ち上げ、講演会・ワークショップ・養成講座等、目まぐるしいスケジュールをこなし、まずは自分たちが学び、そこから部会ごとのイベント・講座として実施された状況は、本当にすばらしい。活発な活動をしていくには、人選というものが大切である。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり推進事業について、地区別講演会・ワークショップ・検討会議に至るまでの参加者の集め方と、中核検討会メンバーの絞り込み方は大いに参考になった。来年度立ち上がるであろう「まちづくり協議会」のメンバーを具体的に検討していく段階で、一つのヒントがあった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行政指導もさることながら、地域住民が積極的に地域づくりに参加しているところがすばらしい。地域で何が必要なか自分の地域をよく知り、地域を見つめ直すことが大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大胡地区でも地域づくりをどうやっていくのかに重点が置かれているわけで、地域づくりの具体的なスタートは合併後18ヶ月を要している。我々の上河内地域もタイミングを失わないように、地域づくりに向けての検討委員会なるものを考えていかなければならない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりをするためには、地域住民の理解・参加・協力が必要であり、自分たちで出来ることを整理しながら地域活動計画を作り、実行することが大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・合併前の大胡地区は、いろいろな行事を展開して地域の住民と密着していたが、合併後は大きな組織になったためか連帯意識が薄くなってしまった。その中で「健康づくりの推進」という大きな目標を掲げて、地域の連帯意識を強化する必要があった。大胡地区と上河内の現状は似ている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まず外食産業などが多く立ち並んでいたのと、運動公園や文化会館などの施設が充実していて、イベント等を開催するのに恵まれた環境である点から、上河内とは違った印象を受けた。地域づくりについては4つの部会が横の連携を取りながら活動を行っていると聞きましたが、これからの上河内のまちづくりを進めていく中では、とても参考になった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何か一つに焦点を絞って特色あるまちづくりをしていく、そして象

	<p>微的なものを造ってそれに関連性のある相乗効果をねらっていく必要がある。組織としてはもっとオープン化して、違った人も会議に加えるべきである。</p>
委員	<p>・上河内と違ったところはかなりありましたが、私たち自治会議が目指すところ「まちづくり」に関しましては、同じ考えを持っている。</p>
委員	<p>・組織の構成と位置付けについては、地域課題・解決策・取り組むべき活動をまとめ上げ、現状を把握・要因分析・対策の科学的手法に基づき、取り組むべきテーマを決定したらしく、見習うべき手段がそこにある。</p>
委員	<p>・魅力・活力のある地域づくり推進にあたっては、一日も早い組織づくりが求められ、地域づくり推進事業、地域の特性に合った活動の展開が必須条件となる。事業を展開するには、住民が率先してやるのが大切であるが、住民だけの力では満足できる結果は得られないので、行政にも協力いただき、お互いに地域づくりに取り組んでいくのが本来の姿である。</p>
委員	<p>・地域づくりは、自治会連合会が主体となって各種団体との繋がりや、行政との繋がりを密に図って運営し、構成にしても4部会からなり、それぞれに特徴を持った活動をされていることから、これから先の上河内もこれらを参考にすることでできる。</p>
委員	<p>・大胡地区の地域づくり推進委員会の組織づくりには、是非とも成功させたいという熱意が伝わってきた。我が上河内地域においても、熱意のある人を委員に選んで、まちづくり協議会の組織づくりをしていかねばならない。</p>
委員	<p>・合併に対して文化関係の団体が、予算の関係により最終的にゼロになるとの話があった。上河内の場合も各種予算が減らされ、宇都宮の色に染められるのであろうと思うが、上河内なりの独自性を持った行事を積み重ねていく必要があり、自治会議がしっかりしたかたちで進めていくことが大切である。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大胡地区では、高齢の方が率先してリーダーを長年勤め、しかも健康をテーマにした市民協働の催事が行なわれるのは素晴らしい。当地でも産業文化祭等の似たようなイベントを経験しているが、更に工夫することで、市民の意識が変わるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大胡地区でも住民の意見を尊重すると言っているけれども、実際には行政の力添えが必要であり、いきなり住民に「すばらしいまちづくり」ができるかという疑問である。現実は大胡地区でも行政が力を貸している訳で、市長まで会議に出るということは、いかに行政が力を入れているかを感じる。
4 その他	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議の際の質問について、口頭で説明する。 (質問事項) ・上河内中学校において今年の3月までは、授業や部活動に上河内体育館を使用していたが、4月以降使用できないことで、教育活動に問題が生じないのか。部活動については、体育館が2面ほしいのではないか。実情が分かった段階で意見を伺いたい。 (回答) ・授業については上河内中学校の体育館で対応している。部活動では、バスケット部と卓球部が上河内体育館を有料で使用しており、部員が使用料金を支払っている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の説明について、各委員から意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで論ずることではないが、中学生が有料でこの体育館を使用することについては、検討していく事項の一つではないか。学校の体育館以外を使いながら部活動をやっている中学校が、どれだけあるのかを市が調査をして、他の中学校も同条件であるならば理解できなくもない。それにしても、なぜ減免措置なるものが取れないのかという理由も調査願いたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この問題だけに限定していうと、「合併して住民サービスが下がった」

	<p>ことになりかねないので、再調査願いたい。</p>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の言うとおりに、合併で良くなった面がかなりあることは十分理解している。合併前には財政的な事情もあって、学校の教員が使うパソコンまでは対応できなかったが、合併後は対応されている話も聞いているし、小学生まで医療費の現物支給があることなど、合併してマイナスだとは思っていない。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、各委員から意見を求める。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケット・卓球は有料で、バレーボールや他のものに関しては、中学校の体育館を使えば無料ということに矛盾を感じる。中学校の体育館が狭いので、仕方なく市の体育館を使うのだから、その辺の融通性はここで論じる前に、中学校の先生と行政が話し合って解決していかないと合併のデメリットになってしまう。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者のいないところで話をしても意味がない。次回この時間だけ担当者に来ていただくか、文章で回答していただくなり対応願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館については、市内各地区にあったなら自由に使用できるが、上河内地域や河内地域など、特定の場所にしかないという状況から、使用する際は一般と同じように使用するのが当然であるという考えだと思う。まちづくり関係については、市が目指している計画に沿って進めて行くのが望ましいと思う。自治会議が10年という中で運営していくわけですから、この地域が将来に渡ってまちづくりを議論していくにはどんなかたちがいいのか。基本があるわけではないので、いろんな手法といろんな考えを出し合い、「地域の特性を活かしたまちづくり」について議論してほしい。平成21年の中頃までには組織化しようと考えて取り組んでいる。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、各委員から意見を求める。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・合併して行政サービスは良い面、悪い面いろいろある。生涯学習センターで産業文化祭（11月2日）を行う際に、卓球室を使用する

	<p>と有料になる。そのため中央小学校の体育館が使用できる日（11月1日）に変更しなければならない。こういうことを踏まえると、まちづくりではなくまちこわしになってしまう。年に1回のイベントなので、行政は何とか地域のために頑張ってもらいたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の説明に疑問を感じた。市が目指している計画に沿ってとあったが、私が考える上河内は魅力ある拠点の創造というところが、最も重点を置くところだと思っている。市が掲げるネットワーク型コンパクトシティの創造は、各地域の特色をネットワーク化することによって、住みやすいまちを創造するということと理解しているが、こちらの方々がイメージする上河内の魅力ある拠点の創造に重点を置くことについての考えは持っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市の考えを受けてというのではなく、地域で考えた地域のまちづくりの計画が、将来の市の計画と同じレベルに高まることを期待して進めていくという意味で考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、各委員から意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・体育については、合併したために競技を愛好する人が少なくなった。上河内はソフトボールが盛んだが、去年まで料金免除されていた夜間照明が今年から有料になり、1つの大会をやめてしまった。ソフトボール愛好者に本当に申し訳ないと感じている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センター施設の申し込みについて、申し込みの時に規約の提示などが求められるが、以前の宇都宮市ではそれまで細かくやっていたのか。できれば団体名と代表者の名前で施設利用の申請ができるようにしてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から申し込みについては、先ほど言った書類を提出していただいている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・以前からやっていたからではなく、悪用するわけではないので、できれば団体名と代表者名だけで施設を利用できるように検討してください。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・意見として担当に伝えます。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用申請の根拠がどうなっているのか,確認する必要がある。 ・その他,各委員から意見を求める。
	(質問・意見なし)
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から連絡願う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の自治会議は,7月中旬に予定している。 <p>なお自治会議終了後,河内自治会議と先進地視察研修の報告会を兼ねた意見交換も予定している。</p>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上を持って,「平成20年度第3回宇都宮市上河内自治会議」を終了する。